

『魅力ある授業づくり』への新たな挑戦

— Web による授業改善アンケートと授業評価システム —



FD 委員会委員長
学長
山下興亜

本稿は中部大学 FD 委員会委員長として執筆するものであるが、学長に就任した平成17年度春の教員総会で、「大学教育改革に王道なし、頼れるのは自力だけ、もてる力を信じ、出し合おう」と訴え、また平成18年度春には、全教員参加による「若者に魅力ある大学づくり元年にしよう」とも訴えたことが脳裏に鮮明に焼きついている。

昨年来、大学院設置基準の改正、大学設置基準の改正などで、いわゆる大学教員の FD 義務化がなされた。FD の学問的な定義については国内外の多くの専門学者に譲るとしても、広義には大学教育の質の向上のため、組織的に教員の能力開発をする全ての営みであることは間違いなく、設置基準ではその最低限の営み、すなわち「教育内容等の改善のための組織的な研修等」が義務付けられたと認識するのが妥当であろう。

本学においても、他大学に先駆けた多くの FD 活動を推進してきたが、各学部代表委員も加わった FD 委員会で鋭意検討した結果、種々の FD 活動のうち、重点目標として『魅力ある授業づくり』への取り組みを掲げ、今後5年間を目安として実施することとなった。

すなわち、中部大学は、授業改善に向けた『魅力ある授業づくり』への取り組みとして、Web を利用し、授業期間中に随時「授業改善アンケート」を実施できるようにするとともに、学期末には、「学生による授業評価」と「教員による授業自己評価」を実施することを決定した。もちろん、今まで取り組んできた「授業オープン化制度」、「授業改善ビデオ撮影支援制度」もその取り組みの一環として継続する。

若者こそが、未来からの使者であり、未来の開拓者であることは論をまたないところであり、若者の未来に視点をおいた教育設計と教育実践こそが大学教育改革の本質でもあろう。

学生たちも大いに巻き込み、全教職員のもてる力を限りなく出し合って、元気な若者が集う魅力あふれる中部大学にしようではありませんか。

Web を利用した新システムの概要



FD 委員会 FD 活動 WG 長
大学教育研究センター長
学長補佐
坪井和男

本年度からの導入を決定した Web 上で展開する授業改善に向けた新たな挑戦は、授業期間中に教員が希望する授業科目に対して随時行うことができる「授業改善アンケート」、学期末に原則として全科目に対して行う「学生による授業評価」とそれに対応して行う

「教員による授業自己評価」の3本柱から成っており、その新システムの概要は以下のようなものである。

「授業改善アンケート」の概要

- ①実施科目：大学院を含むすべての授業科目にシステムを提供する（卒業研究など一部の授業科目は除くことがある）。
- ②実施要領：1回のアンケートの設問項目は5問までとし、その内容、実施時期、結果の公開時期もすべて利用する教員が設定する。設問回答欄とは別に自由記述欄も設ける。

③結果閲覧：このアンケートの集計結果および自由記述のまとめ、教員から学生へのコメントは、当該授業の担当教員と受講者のみが閲覧できる。

| 回答選択肢 | 回答数 | 回答率 (全回答に対する割合%) | あなたの回答 |
|----------|-----|------------------|--------|
| 1. とても良い | 60 | 49.6% | ● |
| 2. 良い | 24 | 19.8% | |
| 3. ふつう | 12 | 10.0% | |
| 4. 悪い | 12 | 10.0% | |
| 5. とても悪い | 12 | 10.0% | |
| 6. 回答不能 | 1 | 0.8% | |

学生が見る集計結果の表示例

「学生による授業評価」の概要

- ①実施科目：原則として共通の設問項目で実施可能な学部の全授業科目について行う。
- ②実施要領：設問項目は8問（この他、2問は学生自身に対する設問項目で、授業評価の対象外）とし、設問回答欄に加えて自由記述欄も設ける。実施時期は、各学期の14週目頃から3週間程度とする。

「教員による授業自己評価」の概要

- ①実施科目：「学生による授業評価」を実施するすべての授業科目について行う。
- ②実施要領：設問項目は8問（この他、2問は教員自身の学生に対する認識を問う設問項目で、授業自己評価の対象外）とする。実施時期は、「学生による授業評価」と同じとする。

「学生による授業評価」と「教員による授業自己評価」の集計結果の公表

個々の授業科目に関する集計結果、および教員

からのコメントは、学内限定の Web 上で公開するので、ユーザー ID とパスワードを入力し、ログインすれば下記の項目を閲覧できる。

①各授業科目

- 1) 授業科目の基本情報：科目名、担当教員名、開講曜日・時限、受講者数
- 2) 集計結果：回答者数、回答率、各設問項目の回答数、評価ポイント平均値
- 3) 教員からのコメント：授業評価結果と自由記述に対するコメント

②「学生による授業評価」の各集計結果

③「教員による授業自己評価」の各集計結果

なお、「学生による授業評価」結果は、平成20年度から新たに導入された「教育活動顕彰制度」の大学全体の評価項目の一部としても利用されることとなっている。

本システムは『魅力ある授業づくり』の一環として、今年度から運用しますが、改善すべき点多々発生しようかと思えます。全教職員のご理解とご協力で、学生の成長に役立つよう、本システムを温かく見守り、成長させていただければ幸いです。

本システムの構築に関し、特に各学部等から参加いただいたFD委員会FD活動WGの皆様のご尽力、および関係各部署のご協力が多大であったことを付記し、深く感謝申し上げます。

「学生による授業評価」設問項目
(設問 A および B は学生自身への問いかけ)

- 設問 1：教員は授業時間を守りましたか。
- 設問 2：教員の声は明瞭で聞き取りやすいものでしたか。
- 設問 3：毎回の授業の主題・テーマが明確に示されていましたか。
- 設問 4：この授業に取り組む教員の熱意ある態度を感じましたか。
- 設問 5：授業を理解させるためのいろいろな手段・工夫は適切でしたか。
- 設問 6：教員は学生の反応を確かめながら授業を運営していましたか。
- 設問 7：この授業の内容は理解できましたか。
- 設問 8：この授業は総合的に魅力的な授業でしたか。
- 設問 A：あなたはこの授業に必要な授業時間外の学習をしましたか。
- 設問 B：あなたはこの授業に意欲的・積極的に取り組みましたか。
- 自由記述：この授業について良かったところや改善してほしいことがあれば記入してください。

